

静岡県議会議員

田口 章 後援会  
だより

お気軽にどうぞ  
昼 053-447-3820  
夜 053-440-7100

平成 25 年 新春号

創ろう！元気な浜松&静岡県

# 安全、安心、安定した政治をめざして

謹んで新春のお慶びを申し上げます。  
本年が皆様にとって良い年になりますよう  
心からご祈念申し上げます。

さて昨年末は再び「政権交代」が起きました。  
日本の国際的プレゼンス（存在感、影響力）が  
低下する中、経済、通商、外交、税制、社会保  
障、エネルギー政策など国政は課題山積です。

政権交代可能な二大政党制をめざしてきた政  
治改革も、少数政党が乱立する状況となり、  
いまだ途半ばと感じます。

政界はまだ流動的な要素をはらんでいると思  
いますが、生活者、納税者、そして家計の視線でしっかりと政策をチェックして  
いきましょう。

とりわけ少子高齢社会の中、国・地方を問わず財政健全化は急務です。「こど  
もにツケをまわさない」。引き続き、このことを肝に銘じて、気を引き締めて取  
り組みます。

静岡県の今年の課題は何と言っても防災・減災の取り組みです。6 月には  
「第 4 次地震被害想定」が公表されます（2 月に中間報告の予定）。合わせて  
「地域防災計画」「地震対策アクションプログラム」が策定されます。

昨年夏に公表された南海トラフ巨大地震では、静岡県内の死者数は最大で 11.4  
万人と推定されました。今後は遠州灘海岸の防潮堤建設の具現化など、防災・減  
災対策を速やかに進め、想定死者数を限りなく減らしていけるよう取り組んでい  
きます。

また今年は「富士山の世界文化遺産登録」も期待されています。発表は 6 月の  
予定ですが、明るいニュースが聞けるとイイですね。

7 月までに県知事選挙もおこなわれます。川勝平太知事は、まだ再選出馬を表  
明していませんが、期待の声があがっており、今後の去就が注目されます。

今年もさまざまな話題がありますが、元気いっぱい走り回ります。引き続き、  
ご支援くださいますようお願い申し上げます。



# 平成24年の県議会を振り返って

議会 メインテーマ	議案審議等のポイント	主なトピックス
2月定例会 <b>当初予算</b>	下記重点5分野を中心とする24年度当初予算を議決。 ①雇用対策 ②少子化対策 ③地震・津波対策 ④エネルギーの地産地消 ⑤内陸フロンティアを進めることを確認。	副知事を3人体制とする議案が自民系会派の反対で否決され、4月から副知事不在の異例の事態に。
4月臨時会 <b>副知事選任</b>	不在となった副知事選任のための臨時会を4/18に開催。大須賀前企画広報部長と国交省出身の森山前交通基盤部長の2人を副知事とする議案を可決。	4/4に中国浙江省から友好交流30周年を記念した訪問団が来県。 4/14新東名高速道路開通。
5月臨時会 <b>議会人事</b>	議長、副議長、常任委員会・特別委員会の正副委員長などを選任。私は「建設委員会」の副委員長を拝命。	県職員が官製談合容疑で逮捕されるなど職員不祥事が相次ぎ発生。
6月定例会 <b>津波対策</b>	民間企業から防潮堤整備の寄附の申し出をいただき、県市との三者協定を締結。これに基づき津波対策を議論。	サムライ・シャツ登場。 「教育行政あり方検討会」スタート。
9月定例会 <b>県民投票</b>	「浜岡原発の再稼働の是非を問う県民投票条例案」を審議。住民自治のあり方やエネルギー政策等について議会内で大議論。結果は否決。	竹島問題により韓国忠清南道との友好協定締結が延期される。
12月定例会 <b>経済対策</b>	約73億円の補正予算等を議決。国の経済対策に呼応したインフラ整備や雇用、子育て支援等を議論。「北朝鮮のミサイル発射に関する決議」を採択し厳重抗議。	11/10・11 皇太子殿下をお迎えして「全国育樹祭」を開催。 12/16 衆議院選挙で「政権交代」。

## 田口 章 昨年の取り組みの成果と課題

県議会では上記のとおり、地震津波対策や内陸フロンティア、雇用対策などを積極的に進めていますが、議員個人としてこれまでの経験を活かし、勉強を重ねながら、下記のような取り組みを進めています。

テーマ	進捗状況と今後の課題
クラウド・コンピューティング	今後の行財政改革のカギはICT戦略です。現在、静岡県では庁内システムのクラウド化を進めています。これにより業務の標準化、効率化や経費節減が期待できます。今後は県全体の最適化をめざし「市町のクラウド化(共同設置)」を推進していきます。
ファシリティマネジメント	資産経営基本方針の策定を進めており、案が12月に公表されました。県有施設の老朽更新に必要な費用は年間約188億円と試算。しかし過去5年の平均投資額は148億円となっています。この数字には道路や橋梁、トンネルなどのインフラ施設は含まれていません。ハコモノもインフラも効率よい改修と統廃合が必要になってきます。
財政健全化と公会計改革の推進	総県債残高の削減は進んでいません。「臨時財政対策債」は増加の一途となっています。なお「退職手当債」の発行額は22年度の100億円から23年度80億円、24年度(予算)60億円と減っています。民間手法を使い公会計改革を進めていますが、まだまだ浸透が図れていません。ムダの削減と財源捻出を提案していきます。
ユニバーサルデザイン	一般質問で「ゆずりあい(思いやり)駐車場」利用ルールの一斉統一化を提言しました。現在、焼津市、藤枝市で実施している手法を、今後、県全域に展開していく予定です。
海外展開支援	海外進出企業を支援するため、来年度に向けてタイ、インドネシア、ベトナムなどを候補地に「サポートデスク」の設置を検討しています。今後は具現化に取り組みます。
産学連携による就職支援	ビジネスマッチングのイベントを活用し、学生に地域企業の魅力を発見してもらうセミナーを提言しました。1/25(金)に開催される「はままつメッセ 2013」で実施されます。就労意欲の高い学生の参加を期待しています。

# “ふじっぴ一家”の家計簿(平成 23 年度)は・・・

静岡県の一般会計は年間約 1 兆 1500 億円。これではケタが大きすぎてよくわかりません。そこで家計に置きかえて計算しました。

県の収入と支出を家計簿に例えると? ～ふじっぴ一家の家計簿～  
ふじっぴ一家の月収を50万円にした場合、収入と支出の内訳は次のとおりです。

収入			支出		
給与(基本給)	県税	17.3万円	生活費	人件費、行政費	18.2万円
給与(諸手当)	地方交付税など	13.1万円	医療・介護	扶助費	3.5万円
友人からの援助	国庫支出金、 寄附金	6.0万円	家の増改築、家具・ 家電の購入など	投資的経費、 維持修繕費	7.4万円
ローン借入	県債	8.5万円	ローン返済	公債費	7.5万円
預金引き出し	繰入金	2.6万円	友人への援助など	奨励助成費	10.7万円
その他		2.5万円	その他		2.1万円
合計		50.0万円	合計		49.4万円
			収入・支出の差引	翌年度への 繰越金	0.6万円

(参考) 勤労者世帯の月収(1世帯当たり) (H23 総務省「家計調査年報」)

費目	静岡市	全国
実収入	552,373円	510,149円
可処分所得(手取り収入)	453,558円	420,538円

## ★“ふじっぴ一家”の問題点

## 【参考 平成 22 年度決算のデータ】

- ①「ローン」の返済額より借入額が 1 万円多くなっています。これでは借金は増える一方です。
- ②昨年度の数値と比較すると「医療・介護」が 2 千円増えています。高齢化の中、減ることはありませんので財源確保が必要です。
- ③「ローン返済」も 2 千円増。借りたおカネはきちんと返さないといけません。負担は増す一方です。

収入			支出		
給与(基本給)	県税	17.2万円	生活費	人件費、行政費	17.8万円
給与(諸手当)	地方交付税など	12.8万円	医療・介護	扶助費	3.3万円
友人からの援助	国庫支出金、 寄附金	6.5万円	家の増改築、家具・ 家電の購入など	投資的経費、 維持修繕費	7.6万円
ローン借入	県債	9.4万円	ローン返済	公債費	7.3万円
預金引き出し	繰入金	1.7万円	友人への援助など	奨励助成費	10.4万円
その他		2.4万円	その他		3.0万円
合計		50.0万円	合計		49.4万円
			収入・支出の差引	翌年度への 繰越金	0.6万円

- ④「生活費」も 4 千円増えました。身の丈にあった生活で、切り詰められるところは節約すべきです。
- ⑤「家の増改築、家具家電購入」は 2 千円減です。老朽化に伴い故障が増えますが大丈夫でしょうか。
- ⑥家計が苦しい中「友人への援助(＝補助金)」は増えています。そんな余裕はないと思うのですが・・・。

なお、この表からは現金の収支しかわかりませんが、決算資料をみると資産の状況もわかります(下表)。

月収 50 万円と同じ比率で計算すると、“ふじっぴ一家”の貯金は 255 万円、借金は 1321 万円となりました。みなさんの家計と比較していかがでしょうか？

なお固定資産の 1861 万円は、いわゆる“簿価(取得価格)”です。“時価”ではありませんので注意が必要です。

	静岡県	ふじっぴ一家
総県債残高(借金)	2 兆 5317 億円	1321 万円
基金(貯金)	4884 億円	255 万円
非金融資産(固定資産)	3 兆 5671 億円	1861 万円

“ふじっぴ一家”は決して楽ではありません。静岡県では、現在、平成 25 年度当初予算編成作業を行っていますが、443 億円もの財源不足が見込まれています。“ふじっぴ一家”でいえば月 2 万円の不足です。みなさんなら収入と支出をどのように見直すでしょうか？



# 最近の活動報告

## ★建設委員会「被災地復興事業視察調査」

平成 24 年 10 月 16-18 日

釜石市、大船渡市で復興支援に入っている静岡県職員から復旧事業の概要説明などを聞きました(写真上)。県職員は 1 年間の長期派遣でがんばっています。

仙台市では防潮堤の建設現場を視察。遠州灘とよく似た地形の海岸での防潮堤のあり方を学びました(写真中)。



## ★「自治体情報化推進フェア」視察

平成 24 年 10 月 24 日

東京ビッグサイトで行われた展示イベントを調査。自治体クラウド導入が進んでいる実態を目の当たりにしました。今後も重点的に調査します。



## ★「大阪府海外ビジネスサポートデスク」視察

平成 24 年 10 月 30 日

会派の同僚と大阪府を訪問。海外展開支援事業を調査しました。大阪府は単独での販路拡大事業も実施しています。



## ★会派視察「エネルギー事情等調査」

平成 24 年 11 月 7-8 日

会派有志で中部電力の「武豊火力発電所」と「メガソーラーたけとよ」、愛知県が取り組む「新エネルギー実証研究エリア」を調査しました。2 日目は議会改革の先進県である三重県議会(写真下・対面式演壇やスクリーンが目新しい)と愛知県のものづくり政策を調査しました。

## ★議会派遣「県議会議員研究交流大会」

平成 24 年 11 月 13 日

全国の議員が集まる年 1 回の研修会。

私は「大都市制度改革と広域自治体議会」分科会に参加。地方制度調査会の論議状況や県と政令市の関係、関西広域連合の活動などについて勉強しました。

## ★この他 9 月定例会後の主な活動

- 10/13 事業仕分け傍聴
- 10/15 友好提携条例検討委員会
- 10/22 静岡県戦没者慰霊祭
- 10/23 浜松市政懇談会
- 11/10-11 全国育樹際
- 11/14-15 会派街頭広報活動
- 11/30 本会議
- 12/03 本会議
- 12/17-19 本会議
- 12/20-21 建設委員会
- 12/28 本会議

## ★1 月以降の主な予定(議会関係)

- 1/09 会派総会
- 1/16 建設委員会視察(遠州灘海岸)
- 1/17 県内視察(防災・減災事業)
- 1/21-22 自治体経営改革セミナー
- 1/28-30 エネルギー政策、自治体クラウド視察
- 1/31 会派勉強会(当初予算関係)
- 2/05 公共事業評価研修会
- 2/09 会派勉強会(当初予算関係)
- 2/21 本会議
- 2/27-3/1 本会議
- 3/4-6 本会議
- 3/08 建設委員会
- 3/11-13 建設委員会
- 3/19 本会議

★日ごろの活動は「ブログ」「フェイスブック」をご覧ください★

ブログ 創ろう! 元気な浜松&静岡県

田口章

で検索